

マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース（※）の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校の実務や、研修（第1部課程等）の履修によって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

令和7年4月に自治大学校へ派遣となってから、早くも8か月ほどが経ちました。人生の大半を東北で暮らしてきた私が、縁あって立川で生活し、ここに来なければ出会うことのなかった人たちと共に働いていることに、不思議なご縁を感じています。一方で、いまだにどこか現実感が薄く、業務後に中央線に乗つて出かける自分の姿など、かつては想像もしませんでした。今は、公私ともに非常に貴重な経験を重ねる日々です。

派遣が決まった当初は、「東京で一年間もやっていけるだろうか」と不安もありましたが、気づけばすっかり馴染んでおり、今では立川での生活がすっかり日常になっています。

ちなみに、この9月までは第1部課程第144期の受講生として研修を受けていました。人生初の寮生活で、同世代の仲間と寝食を共にし、ときには談話室で遅くまで酒盛りをすることもあり、この年になって久しぶりに「同期」と呼べる仲間ができたことは、何よりの喜びでした。

地元を出るとき、「勉強も大事だけど、友達をたくさん作っておいで」と背中を押してもらいましたが、その言葉どおり、かけがえのない友人がたくさんできました。それだけでも自治大学校に来てよかったです（もちろん勉強もしました…よ？）。

現在は、教務部で研修課程の運営を担当しています。担当課程の開講が近づくにつれ、少しずつ慌ただしくなってきました。多くの講師の先生方と連絡を取りながら、2か月半の研修日程を組むという、なかなか緊張する仕事も経験しました。それでも自治大学校の職員の皆さんに助けられ、何とか開講にこぎつけられそうで、ようやく胸を撫で下ろしているところです。困っているとすぐに声をかけてくださる職員の皆さんのおかげで、「なんとかなるだろう」と思える安心感があります。

生活面で特筆すべきは、やはり立川の住みやすさです。自治大学校は立川駅から徒歩15分ほどの立地で、徒歩圏内にスーパーやコンビニはもちろん、IKEAやショッピングモールまで揃っており、生活に不便を感じることはほとんどありません。寄宿舎から職場までは徒歩5分という環境で、業務に集中するには本当に申し分ない環境だと思います。私がこの恵まれた環境を最大限に活かしていると言えるのは…ラーメン屋巡りくらいですが。

こうした素敵な経験ができているのは、派遣元の皆さん、自治大学校の職員の皆さん、そして共に過ごした仲間たちのおかげです。残りの期間も、感謝の気持ちを忘れず、一日一日をしっかりと味わって過ごしたいと思います。何より、雪かきをしなくてよい冬を迎えるのが、嬉しくてたまりません！



▲ 最近立川で感動したラーメン2選！